

令和7年4月18日発行

- 第29号 -

とも たの 偕に楽しむ

雨のち晴れ!元気に紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむ集い



11月17日(日)に「紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむ集い」が開催されました。受付を始めた時は小雨模様でしたが、歩き始める頃には天候も回復し太陽が顔を覗かせていました。今回は西の谷～偕楽園本園～もみじ谷を回るコース。水戸市長が公務で欠席されたため、産業経済部長の小林一仁様からご挨拶を頂き、注意事項、鈴木律子氏の準備体操の後、西の谷に向けて出発しました。参加者は27名、スタッフは9名。須藤友久偕楽園公園センター長の心強い参加もありました。二つの班に分かれて岡野、三ッ石会長が先導、最後尾は後藤事務長についていただきました。西の谷はきれいに整備され、「救民妙薬」の精神に基き、水戸藩にまつわる薬草が8種類植えられています。トイレ休憩の後、西の谷の急坂を一気に上り、好文亭表門通りから偕楽園本園へ。吐玉泉出口を通過して梅桜橋を渡り、もみじ谷。紅葉はまだ少し早いかないと思いましたが、結構色づいていました。楽しいお弁当の後、午後は恒例の“○×クイズ”で偕楽園公園の魅力を再確認出来ました。皆さん、楽しんでいただいたことと思います。

交流委員会 岡野 一紀



もみじ谷でひと休み...

大名庭園サミット彦根大会2024に参加しました



偕楽園公園の特徴を発表する三ッ石会長

基調講演は、京都女子大学特任教授、母利実和氏による「名勝 玄宮園の特色」でした。時代背景や玄宮園作庭の変遷など、発表内容は非常に興味深いものでした。その後、参加している10団体がそれぞれの大名庭園の特徴を発表しました。本会は3番目に三ッ石会長が発表を行いました。

サミット大会の後は、夜景の玄宮園を見学しました。魚躍沼(ぎょやくしょう)に映る彦根城の天守閣が素晴らしいの一言です。そして、お楽しみの交流懇親会はマリアージュ彦根にて。久しぶりに皆さんとの会話が弾みました。翌日22日は、8時に彦根駅前に集合し、彦根城と玄宮園を巡るエクスカーション。彦根城の天守閣に登り、周囲の風景を堪能しました。玄宮園のお茶席は庭を眺めながら、お茶とお菓子で心落ち着く一時でした。12時に四番町スクエアで解散。それぞれお土産などの買物をし、帰途につきました。

交流委員会 岡野 一紀

令和6年11月21、22日に開催された「第15回大名庭園サミット彦根大会」に参加しました。サミット大会に先だって、21日11時30分より三ッ石会長と岡野が「大名庭園民間交流協議会代表者会議」に出席し、彦根大会の進め方と次回、第16回広島大会の準備状況を確認しました。午後からは他の参加者と合流して、サミット大会へ。今回のサミット大会のテーマは「大名庭園それぞれの特徴」。



彦根城をバックに記念撮影



夜の玄宮園と彦根城

延期になっていた論語塾特別講座は1月に開催



受講生にやさしく語りかける安岡先生

令和7年1月9日、水戸生涯学習センターにて安岡定子先生の特別講座を開催し、31名の方にご参加いただきました。講座に先だって、受講生の皆様からのメッセージを安岡定子先生にお渡ししました。昨年、安岡先生と小坪のり子先生が、雑誌「郷學」で、藩校の教育の魅力や弘道館の関わりについて対談をされ、受講生の皆様にもぜひ読んでいただきたと、ご厚意でお送りいただいたので、安岡先生へのお礼も兼ねて感想を書いていたきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

さて、今回の講座のテキストは、孔子の弟子のうち6人が「仁とは何か？」を問い、それに孔子が答えたものでした。普段、使わない言葉が並ぶ漢文ですが、私たちの日常にある出来事に例えて、分かりやすく授業して下さい、2500年前の教えを自分に重ねて考えられる時間でした。受講生の皆様からも「孔子の言葉を心に留めて行きたい」「社会生活の中で大切な事を改めて教えていただいた」など、ご感想をいただきました。初めてご参加下さった方も、毎年ご参加下さっている方も論語の魅力を感じる時間になったのではないかと思います。

論語委員会 鈴木 律子

気持ちも新たに! 花パートナー活動はこれからも続きます

令和6年は、とにかく前年に続き猛暑でしたが、花パートナーの皆さんの花を育てる強い想いで、アーティチョーク、タチアオイ、ひまわり、11月には待望の皇帝ダリアなど洋花を含め立派な花を咲かせることができました。

花パートナー活動は、これまで13年余り窈窕広場前の花壇を整備してきましたが、4月から偕楽園公園センター東側の正門前に新しい花壇を整備して移ることになります。この機会にこれまでの活動を少し振り返ってみたいと思います。



花パートナーの皆さん



思い思いに自分のペースで

平成23年に県からの依頼で100㎡の花壇の整備活動を始めました。花パートナー活動の基本的な方向性としては、“主に和花の宿根草などを中心として、経費や手間をかけない工夫をし、植え替えの少ない花壇をめざす” というものがあります。その方針をもとに皆さんで花々を持ち寄って、私たちなりの花壇を作ってきました。

途中コロナ禍で十分な活動が出来ない時期がありました。また、近くに水場がなく、暑い日が続いて大変な時期もありましたが、花壇整備の合間に皆さんと話をしたり、公園を散歩する人たちとの会話に元気をもらいながら、楽しく活動が続けることが出来ました。今では、すっかり偕楽園公園の片隅に色彩豊かな花壇として定着していました。

令和7年度からは新しい場所に移りますが、これまで通り、道行く人々を楽しませる花壇を作って行きたいと思います。現在、新しい花壇のデザインをどのようにするか、花パートナーのメンバーがアイデアを持ち寄って検討しています。皆さんも今後の花パートナー活動に期待してください。

魅力向上委員会 花パートナー担当 大森 とみ代

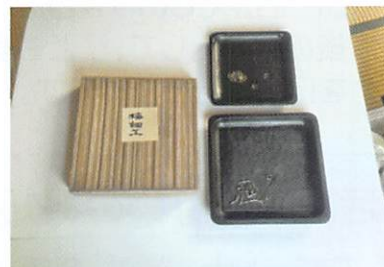
「偕楽園梅細工について」

梅細工は梅の木で作られた文箱、菓子皿、箸などの木工品のことです。かつては水戸の工芸品・土産物として、偕楽園内でも販売されていました。しかし、偕楽焼とともに次第に歴史に埋もれてしまい、今では目にすることはできません。

梅細工の起源は、明治40年頃、当時の県知事森正隆が本県の産業振興のため、水戸の彫刻師町田和雲に命じて創案・企画し、和雲の教えを受けた職人たちによって作られたのが始めとなっています。表面は、四角や六角形の名栗(なぐり)加工に拭きうるしで仕上げられ、さらに梅花図、光圀公、斉昭公らの書を蒔絵で施されたものが多いようです。落ち着いた色合いや素朴な仕上げから水戸の質実剛健の気風を受け継いでいるようです。

梅細工は、世に登場した明治後期から、観光案内書、地場産業の紹介、博覧会案内などに必ずと言ってよいほど紹介される重要な工芸品でした。復活を節に望みたいものです。

魅力向上委員会 林 和男



梅細工 菓子皿

会員紹介

今号の会員紹介は、菊田利秀さんと阿野圭子さんに、偕楽園公園への思いを寄せて頂きました。

菊田 利秀さん



NW体験 歓迎します!

ノルディックウォーキング(以下NW)という北欧発祥のポールを使ったウォーキング法の普及活動をして今年で13年になります。本業は公務員なので活動は主に休日で毎月第2、第4土曜日に黄門像前広場に集合しての体験会を主催し、昨年まででのべ5,000人近くの方に体験していただきました。他にも水戸市近隣の総合型地域スポーツクラブでの指導もしております。

偕楽園界隈で活動している縁でこの会にも所属させていただくことになりました。NWは老若男女問わずにでき、筋力増強や心肺機能の向上を目指す歩き方から、下肢に不安を抱える方の歩行補助まで幅広く対応できるウォーキングです。偕楽園公園を見て歩く際のお伴として、会の力もお借りして普及に弾みがつけばと考えております。皆さんも是非一度NWを体験してみてください。

阿野 圭子さん



お気軽にご利用ください!

阿野 圭子と申します。水戸で生まれ、この町で育った生粋の水戸っぼです。クラシックバレエと登山が趣味です(一緒に山登りをしてくれる方募集中!)。地域の活性化に貢献したいと思い、3年前に“ココリコ食堂”を始めました。県立歴史館の前にある県青少年会館1階で朝7時から営業しています。偕楽園まで徒歩10分ということもあり、梅まつりの時期には全国、海外から多くの観光客で賑わいます。普段は常連のお客様とのんびりやります。

偕楽園公園を愛する市民の会に入会して、改めて美しい自然と歴史に誇りを感じ、多くの人に素晴らしさを伝えていけたらと思っています。

今後の目標として、子ども食堂を始めたいと思っています。未来を担う子ども達にも、偕楽園の魅力を伝えて行きたいです。

活動会員募集のお知らせ

花パートナー活動、朝活@偕楽園ヨガ&ポスチャーウォーキングでは、随時、活動会員を募集しています。参加をご希望の方は事務局までご連絡ください。

■ 花パートナー活動

毎月 第2月曜日、第4土曜日 9:30~10:30
(季節に拠って活動時間が変わる場合があります。)

■ 朝活@偕楽園ヨガ&ポスチャーウォーキング

毎月 第3土曜日 6:30~7:30



体験歓迎!

委員会だより

梅染め活動を振り返る

数年前に、水戸市役所の市民協同会議室において、偕楽園に関わる工芸品、土産物として梅染めの提案をしました(発表者 林)。梅は徳川光圀公、徳川斉昭公と深い縁があり、この木を活用した梅染めは、偕楽園の魅力向上に繋がるという一定の評価を参加者の方々から頂きました。

以来、本会では、梅染めの研修会を継続的に実施し、偕楽園内で毎夏開催される梅染めワークショップ(偕楽園公園センター主催)に、本会会員が講師・補助者として参加したり、春には会員が染めた梅染め作品の展示会を開催しています。

2月21日には、JAクオリテLabにおいて絞り染め、型染めの研修会(本年度2回目)を開きました。さらに、花パートナーメンバーが花壇作業の後に、梅染め生地を用いた“つまみ花づくり”の研修会を開くなど、市民対象のワークショップの開催をめざして梅染め活動を継続的に続けています。今後も本活動を水戸・偕楽園の魅力を伝える手立てとして一層充実させて参ります。

魅力向上委員会 林 和男



梅染めの作品で皆笑顔に!

朝活@偕楽園ヨガ&ポスチャーウオーキング ～ 偕楽園公園でグランディング ～



朝日と梅の香りを浴びながら!

地面を意識して歩いたり、寝転がったりして自然に触れ、大地とつながることを「グランディング」と呼び、心身を癒す効果があります。

今春3月の活動では、参加者の皆様には、偕楽園の満開の梅にご自分を重ねて頂きました。「母なる大地」にしっかりご自身の根を張り、さらに深呼吸で梅の香りを楽しみます。「身体が安定した」とか「心が落ち着いた」というご感想を頂戴しました。

毎月第3土曜日 朝6時半から窈窕広場にて朝活ヨガ&ポスチャーウオーキングを開催し7年目になります。令和6年度の参加者はのべ209名です。今後もより多くの市民に偕楽園公園の魅力を発信し、心身共に健康で活力ある地域づくりの一助となるよう活動していきます。

魅力向上委員会 ヨガ・ポスチャーウオーキング 担当 鯉沼 千加子

歴史アドバイザーに学ぶ 偕楽園の魅力

3月12日、梅の花が香る偕楽園本園で「歴史アドバイザー学ぶ 偕楽園の魅力」を開催しました。前日に降っていた雨も上がり、園内を歩くと少し汗ばむくらい陽気で、平日にもかかわらず多くの観光客で賑わっていました。偕楽園は梅の種類が多く、なかなか覚えることは出来ませんが、名前の由来や特徴など、説明を聞きながら園内を巡ると梅が一層身近に感じられます。今回、快く引き受けて頂きました講師の方には改めて感謝致します。今後もこのような研修会を継続して開催して行きます。



説明に耳を傾けて…

広報・研修委員会 幡谷 公朗

これからの行事案内

～ 城と庭を楽しむ ～ 白河小峰城と南湖公園を巡る

交流委員会

小峰城は、奥州の抑えにふさわしい奥州関門の名城と謳われ、日本百名城に選定されています。南湖公園は、寛政の改革で知られる白河藩主・松平定信により、身分の差に関係なく誰もが楽しめる「士民共楽」という理念のもと、享和元年（1801）に築造されました。城と庭を巡り、歴史の香る癒しのひと時を楽しみましょう！

日 時 2025年5月27日（火） 雨天決行

出 発 8:00（受付7:45～） 帰水18:00頃予定

集合場所 千波公園西側駐車場

参加費 4,000円（入園料含む・昼食付き）※当日徴収します。

（キャンセル料 当日キャンセルの場合は 全額、3日前～前日は80%）

募集人員 40名（先着順）（最低催行人数 20名）

申込締切 5月16日（金） 定員になり次第締切

問合せ・申し込み：三ッ石まで お名前、ご住所、連絡先、年齢をご連絡ください。（TEL：090-8563-5181 E-mail：mitsusat@ybb.ne.jp）



小峰城



南湖公園

春のウォーキングのご案内

魅力向上委員会

例年5月に開催していましたが「春のウォーキング」は 令和8年3月に開催予定です。

詳細は改めてお知らせ致します。

会員募集のお知らせ

偕楽園公園を愛する市民の会では会員を募集しています。入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

年会費振込のお願い

偕楽園公園を愛する市民の会は、会員の皆様の年会費に支えられています。年会費は下記のいずれかの口座へ振込をお願いします。振込にかかる手数料はご負担ください。

郵便振替

常陽銀行

口座番号 00170-4-536139

口座番号 本店営業部(004) 普通 2737737

加入者名 偕楽園公園を愛する市民の会

口座名義 偕楽園公園を愛する市民の会 会長 三ッ石 敏

編集後記

◇会の活動も活発になり、会報の内容も充実してきました。出来るだけ多くの活動を紹介できるように頑張ります！ 校正が大変ですが…。(H)

◇今回初めて編集のお手伝いをしました。会報が完成して、皆様に様々な会の活動をお届けできたことを嬉しく思います。次回もがんばります。(A)

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒312-0041 ひたちなか市西大島3-14-9 TEL：090-8563-5181

発行：偕楽園公園を愛する市民の会 ホームページ：www.kairaku-en.jp

※当会へのお問い合わせは事務局まで